

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 生活環境課 環境保全係

昨年から一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。今年は、そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちのよい散策をお楽しみください。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 生活環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

今日のかっわいい！ (矢)
クマイザサの葉裏にいた「ギボシヒメグモ」の子どもたち。



このクモの成虫の写真は右隣記事参照。

ススキミズク製作中 (su)
今年のススキの穂は、どうしたことが、自分でススキミズクを作っているみたいです。何がススキの創作意欲を刺激したのでしょうか。



ムシヒキアブ科の青目アブ！！ (su)
バッタのミイラ状態がやたらと目に付きました。



昔、昆虫少年だった「馬」さんの説明では、アオメアブなどムシヒキアブ科のアブの餌食になったのだろう、とのこと。気の毒なバッタ。でも、アオメアブも生きるのには必死ですね。

この時期は？ (吉)
この時期の花はどうかと思いきや、地味ではあるが、いろいろな花が咲いていた。
秋の花もよし、吉田山

キノコの季節！ (北)
ナラタケを大量に収穫したMさん 見立て違いでないことを祈っています。

9月のキク科 (悦)
ユウガギク(柚香菊)→ガイドブック P110



?ヨメナ(嫁菜)
ノコンギク(野紺菊)→ガイドブック P110



観察成果 (iku)
●よく似た植物の違い
野コン菊 花ヒラが少したれる。
ゆうが菊 葉の切れ込みが深い
よめな 葉の切れ込みが浅い

大根花 タネガイガグリ頭
キツネのボタン タネがコンペイトウ

今日わかったこと (K)
ユウガギク 花白 葉の切れこみ大きい
ヨメナ 花白 葉の切れこみない
ゴマナ 花が小花でたくさん集まる

タデの花はいろいろあるが、皆好きです。
押しつけがましくなく、やさしく、ひっそり。
タニソバ、ハナタデ、タニタデ、アキノウナギツカミ、ミゾソバ…。

観察した昆虫 (馬)
● オオムラサキ幼虫(2 齢、3 齢)
● メスグロヒョウモン♀
● ミドリヒョウモン♀
● ウラギンシジミ
● アサギマダラ♀



● ?マルタンヤンマ♀
● ?オオルリボシヤンマ♀
● シオカラトンボ♂
● スジクワガタ♂
● キマワリ

今日のクモ・アブラムシ (矢)
クモ類
●ギボシヒメグモ



アブラムシ類
●ヘクソカズラヒゲナガアブラムシ



●アシボシヒゲナガアブラムシ
●ヌルデシロアブラムシ
●カバイロトゲマダラアブラムシ

Mittyさんの観察日記

☆ヌルデの虫こぶが紅葉している！？虫こぶは枝なのに葉緑素やアントシアニンを持っているということ？

☆メナモミがくつつくのは知っていたが、ガクに毛が生えているのを観察したら、何と繊細な！

☆切込みの深いユウガギクと、少し切れ込みのあるヨメナ。

しっかり観察してみると初めて違いがわかった。

☆タデ科の小さな花々に初めて着目した。

タニソバ、ハナタデ、タニタデ？、ミゾソバ。足元の可憐な花々にちょっと感動。

アケボノソウ→ガイドブック P111



アケボノソウの群生に感激しました。二年草で次の若芽の成長にも期待しています。又御会いしたいと願っています。(中野)

石田さんの観察いろいろ

★ヌルデの虫コブの周りとか、傷がついたり、実ができたり、栄養が不足したりして、葉が枯れる部分などは、部分的に紅葉が進む。

★林の中より、頂上広場など、開けたところの方が、日当たりと風通しが良いせいかな？！寒暖の差が激しいのだろう。紅葉が進んでいた。

★課題の花などは半分くらい確認。不明樹木の葉を2種採集。帰宅後、図鑑を調べてみるつもりです。

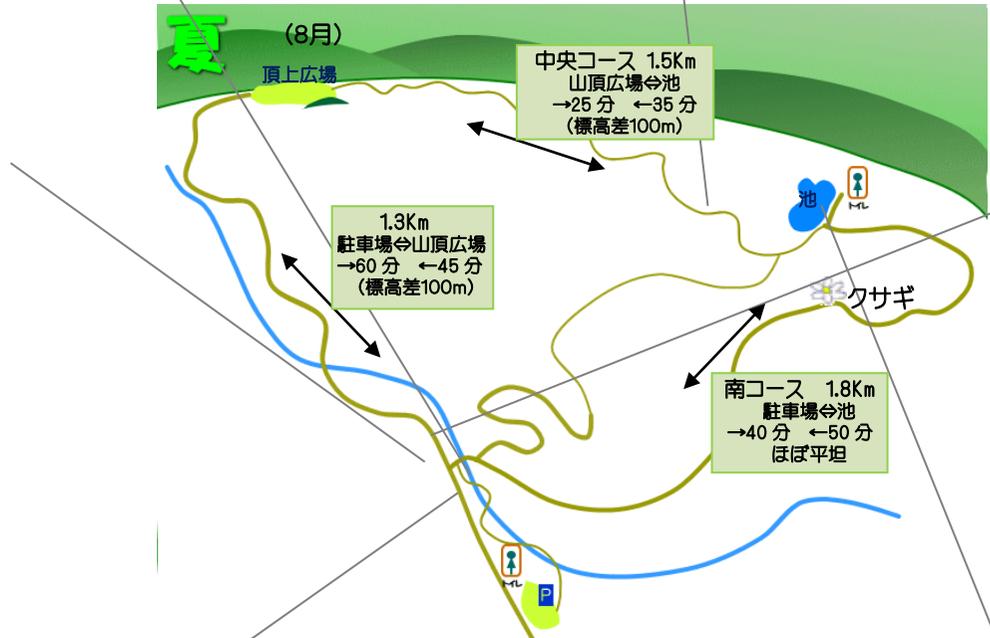
秋らしく (?)

ゲンショウコ、ミズヒキ、ミゾソバなどの小花が多く見られました。

イケマやダンコウバイの実、センブリのつぼみができていて、秋らしくなってきました。初夏には穴もなくきれいな若葉だったのが、虫食いや葉脈を吸われて変色した葉がみられ、夏の間の虫の活動の跡がみられました。



種の冠毛が整然とたたまれています。

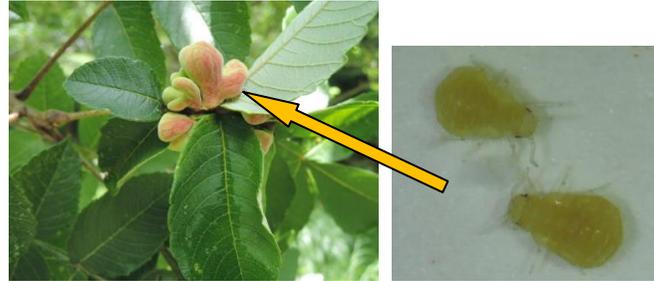


ハキダメギク (?)

こんな名前をつけたことは何と罪なことか。かがんでよく見るとなんと可憐な姿にうっとりです。命名する時は我子の時の気持ちでいたいものです。



ヌルデノミミフシ



ヌルデシロアブラムシがヌルデの複葉翼部に作る虫こぶ。虫こぶはタンニンを多く含み、五倍子(ごばいし)として染料、止血、下痢止め、口内炎、歯痛、かつてはおはぐろとして使用された。

9月はタデ科が元気！ (悦)



上左:イヌタデ(犬蓼)
上中:ミゾソバ(溝蕎麦)
上右:アキノウナギツカミ (秋の 饅頭み)
下左:ハナタデ(花蓼)
下中:タニソバ(谷蕎麦)

トンボの産卵 (K.K)

池のほとりでトンボが産卵していました。

